市長独言 No.115 …「ロベ」ブランド認定

種子島のフェニックス・ロベレニーが鹿児島県の推進する「かごしまブランド」の団体認定（ＪＡ種子屋久）を受け、市内のホテルで9月に開かれた記念祝賀会に私も出席しました（6ページ参照）。人口減少の進行に伴い、農業の担い手不足が深刻化している中で、元気な高齢者の皆さんも意欲的に取り組み、種子島全体に生産者のネットワークづくりが進められていることを心強く思いました。

フェニックス・ロベレニーが鹿児島県の誇るブランド産品に選ばれるのは、花き部門ではレザーリーフファンに続き二つ目です。

祝賀会では過去3年間で10万本以上を出荷した5人の生産者が表彰され、伊関の古田恭子さんが12万5970本と3位の実績でした。生産グループづくりが先行していた南種子町の先輩農家からの助言、指導を受けて今回の受賞に値する実績を上げるまでに力をつけたのだそうです。

「ロベ」は、ヤシ科ナツメヤシ属の植物で東南アジアの熱帯雨林が原産。観葉植物としての鉢植えが盛んですが、切り葉は花束やスタンド花、祭壇に重用されています。寒さに比較的強いものの霜には弱く、国内では東京都の八丈島などが先進生産地です。

栽培環境としては、種子島がより適しているとの見方もあり、近年は南種子町はじめ3市町で栽培されています。収穫や管理作業が比較的軽いことから、高齢者でも取り組みやすい品目といわれます。

種子島のブランド産品としては、「種子島安納いも」が国の地理的表示（ＧＩ）保護制度に登録されています。安納いもと合わせて、島の稼ぐ農業にひと役買ってもらうことが期待されます。



▲青々と茂る「ロベ」＝安城の圃場